

株主・投資家のみなさまへ



第95期中間経営報告書

2016年4月1日から2016年9月30日まで

Connection
System
Division



HSDコネクタ
ライトアングルタイプ

Functional
Components
Division



Bluetooth® Smart通信対応
標準音声伝送リモコン

Touch Panel
Division



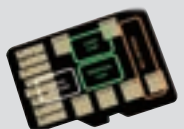
静電容量方式 曲面タッチパネル
「CapSleek Touch®」

Research &
Development
Center



Bluetooth® Smart Module
「BTS04シリーズ」

SMK
LOGOMOTION



LGM Card

CREATIVE CONNECTIVITY
もっと創造的に、もっと繋がる

トップメッセージ

To Our Shareholders



代表取締役社長

池田 靖光

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第95期中間期（2016年4月1日～2016年9月30日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

当中間期の概況

当中間期における世界経済を取り巻く環境は、英国のEU離脱、中国経済の減速、地政学リスクの高まり等から、ますます不透明感を増しつつあります。米国経済は斯かる不安定な環境下の景気減速懸念を払拭できなかったものの、穏やかな成長軌道を維持することとなりました。日本経済は、円高の影響や個人消費の低迷から低成長の域にとどまることとなりました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、主力の車載市場では、安全走行関連のリアビューカメラ用コネクタや、車載カメラモジュールなどは順調に売上を拡大しましたが、タッチパネルが得意先の在庫調整等の影響により低調な結果となり、車載市場全体では前年を下回りました。また、北米および中華圏向けスマートフォン用コネクタや、米国向けセットトップボックス用リモコンも得意先の生産減等の影響を受け低調な結果となりました。一方、ヘルスケア市場向けコネクタは引き続き好調に拡大しました。

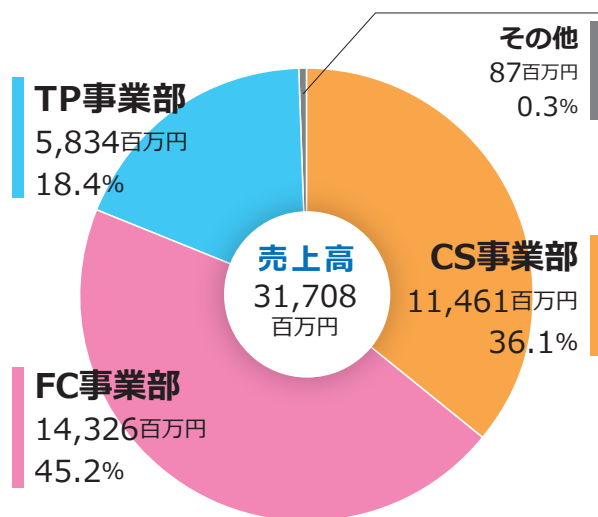
以上の結果に加え円高の進行もあり、当中間期における連結業績は前年同期比減収減益となりました。1株あたり中間配当につきましては、これらの状況を総合的に判断し5円とさせていただきます。

今後は、主力の車載、スマートフォン、セットトップボックス、ヘルスケア市場に加え、ウェアラブル、IoT、VR等の新市場の売上拡大を図るとともに、ベンチャー企業の発掘や協業による新規事業の創出を目指し、オープンイノベーションの取り組みを積極的に進めてまいります。さらに、新規開発の初期段階で品質、設計、生産部門など関連部門共同で課題の早期解決を図る「フロントローディング型開発」の推進による品質向上に努め、全社一丸となって業績向上に取り組んでまいります。

2016年11月

事業部門別の概況

Review of Segment



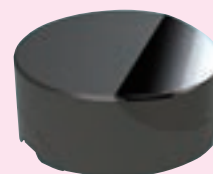
※ その他：その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業、ファクタリング事業および労働者派遣事業を含んでおります。

FC事業部

Functional Components Division

【主要品目】

- リモコン
- 各種無線ユニット
- スイッチ
- カメラモジュール



Bluetooth® Smart対応IRブラスター
「BT/IRステッカー™」
用途：住宅設備機器、家電機器等

主力のリモコンは、国内サニタリー・医療機器向けで堅調に売上を伸ばしましたが、米国の衛星放送セットトップボックス向けで得意先新製品の立上げ遅れによる数量減の影響を受け前年を下回る結果となりました。ユニットは、今後成長が期待される車載向けカメラモジュールは順調に新規受注を獲得し拡大基調にありますが、米国の住宅設備向けユニットで得意先の生産減の影響を受け、前年を割り込む結果となりました。一方、スイッチは、スマートフォン市場向けで小型スイッチの新規受注により前年を大きく上回りました。

CS事業部

Connection System Division

【主要品目】

- 同軸コネクタ
- 基板対基板コネクタ
- FPCコネクタ
- ジャック



ハイパーボゴターミナル
用途：スマートフォン、ウェアラブル機器、車載電装機器等

コネクタは、主力の通信市場において、スマートフォン用が北米得意先の減産や中華圏得意先の競争激化により、低調な結果となりました。車載市場では自動車の電子化の高まりを追い風に、安全走行関連コネクタとして、リアビューカメラ用を中心に順調に拡大しました。新規市場開拓の成果として昨年度新規コネクタが採用されたヘルスケア関連市場は引き続き好調で、前年を大きく上回る結果となりました。一方、環境市場においては市況の変化により太陽光モジュール用コネクタが前年を割り込む結果となりました。

TP事業部

Touch Panel Division

【主要品目】

- 抵抗膜方式タッチパネル
- 静電容量方式タッチパネル
- 光学方式タッチパネル



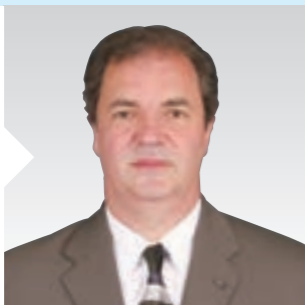
静電容量方式タッチパネル
「Wing Touch®MM」
用途：FA機器、事務機、POS、デジタルサイネージ機器等

主力の自動車向けカーナビゲーションおよびセンターコンソール用タッチパネルは、北米および韓国・台湾系の一部得意先の生産調整の影響により、前年を下回る結果となりましたが、中国市場向けは増加となりました。自動車向け以外の産機機器および医療機器市場向けタッチパネルは、新規受注獲得により対前年比増となりました。

新任取締役・監査役のご紹介

2016年6月22日(水)、東京・ゲートシティ大崎のゲートシティホールにて、第94回定時株主総会を開催いたしました。今回選任された新任取締役2名、新任監査役1名をご紹介します。

取締役常務執行役員
ポール エバンス
Paul Evans
1961年11月22日生まれ



私、ポール エバンスは1984年に当社へ入社して以来、欧米圏における製品の販売拡大に貢献してきました。当社は海外売上高比率80%以上、海外生産比率70%以上と海外ビジネスがますます重要になっており、グローバルな視点を活かして職責を果たしてまいります。

取締役
中村 利雄
Toshio Nakamura
1946年7月22日生まれ



私、中村利雄は通商産業省貿易局長や中小企業庁長官を歴任する等、長年にわたり商工業の復興に寄与する要職を務めてきました。社外取締役として、これまで培った豊富な経験と見識を、当社の経営全般に反映してまいります。

監査役
福井 盛一
Morikazu Fukui
1955年8月20日生まれ



私、福井盛一は金融機関勤務を通じて豊富な知識・経験を培ってきました。社外監査役として、専門分野を活かした客観的な視点で監査を行ってまいります。

略歴

1984年10月 研修生として当社入社
1986年10月 SMK Electronics (Europe) Ltd. 入社
2000年 4月 SMK Electronics Corporation U.S.A.社長(現在)
2006年 6月 当社執行役員、米州圏営業担当
2010年 6月 当社常務執行役員
2012年 4月 SMK Electronics (Europe) Ltd.社長(現在)、当社欧米州圏営業担当(現在)

略歴

1970年 4月 通商産業省入省
1999年 9月 貿易局長
2000年 6月 中小企業庁長官
2003年10月 財団法人2005年日本国際博覧会協会事務総長
2007年11月 日本商工会議所、東京商工会議所専務理事
2011年 6月 日本ガイシ株式会社社外取締役(現在)
2016年 3月 公益財団法人全国中小企業取引振興協会会長(現在)

略歴

1978年 4月 株式会社日本興業銀行入行
2001年 6月 同行東京営業第一部副部長
2006年10月 DLIBJ Asset Management International Ltd.社長
2011年 6月 株式会社みずほプライベートウェルス マネジメント監査役

『SMK90年史』刊行

2016年4月、創立90周年記念事業の一つである『SMK90年史』を刊行いたしました。当社の社史は、1975年に『五十年の歩み』を刊行、以降60年史、80年史を刊行してまいりました。今回は、これまでの当社の重要なエピソードを選び、池田無線電機製作所創業から昭和無線工業株式会社設立を経て、SMK株式会社に社名変更した60年までを「経営編I部」、その後、海外展開を拡大し、激変する経営環境の中、トランスナショナル経営を推進してきた現在までの30年を「経営編II部」として構成いたしました。



日本語版表紙



座談会

技術編

英文版

また、将来を担う若手管理職による「座談会」や、当社の主要製品や技術の変遷をまとめた「技術編」なども掲載しております。2016年9月には、この90年史を再構成し翻訳した初の英文版・中文版も刊行いたしました。

連結財務データ

Consolidated Financial Data

詳細な財務情報は

SMK IR

検索

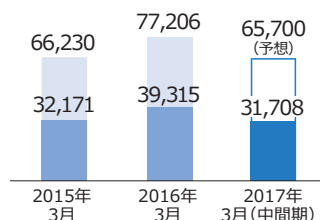
売上高

(単位: 百万円)

31,708 百万円

(前年同期比 19.3%減)

■ 中間期 □ 通期



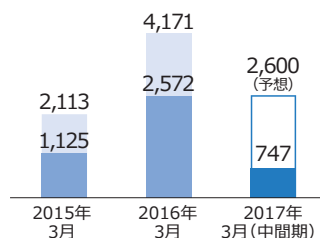
営業利益

(単位: 百万円)

747 百万円

(前年同期比 71.0%減)

■ 中間期 □ 通期



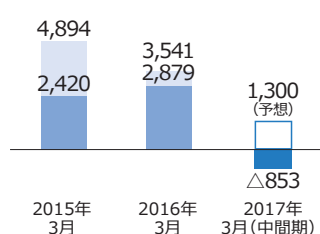
経常利益

(単位: 百万円)

△853 百万円

(前年同期は2,879百万円)

■ 中間期 □ 通期



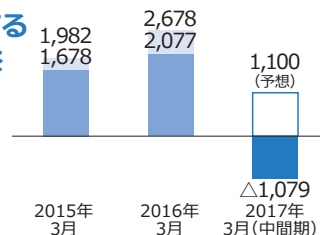
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(単位: 百万円)

△1,079 百万円

(前年同期は2,077百万円)

■ 中間期 □ 通期



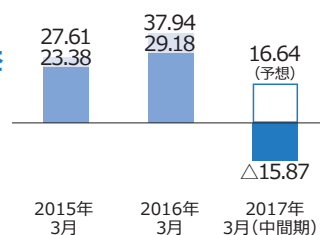
1株当たり 四半期(当期)純利益

(単位: 円)

△15.87 円

(前年同期比 45.05円減)

■ 中間期 □ 通期



株式情報

(2016年9月30日現在)

Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数	195,961,274株
発行済株式の総数	75,000,000株
株主数	7,922名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	3,287	4.96
日本生命保険相互会社	3,241	4.89
大日本印刷株式会社	3,200	4.82
SMK協力業者持株会	3,105	4.68
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,508	3.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,247	3.39
SMK社員持株会	1,820	2.74
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,800	2.71
公益財団法人昭和池田記念財団	1,500	2.26
池田 彰孝	1,420	2.14

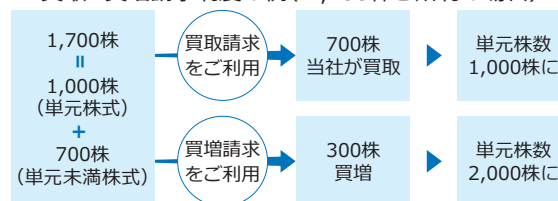
(注) 当社は自己株式8,738千株を保有しておりますが、上記大株主からは当社を除いており、また、上記持株比率は自己株式を除いて算定しております。

株式に関するお問合せ先・手続き先

1. 配当金のお振込、単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、住所変更等のお手続き窓口は次のとおりです。

証券会社に口座を開設されている株主様	証券会社に口座を開設された証券会社にご照会ください。
証券会社に口座を開設されていない(特別口座に記録されている)株主様	当社の特別口座の口座管理機関(兼株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(0120-232-711 通話料無料)にご照会ください。

- 買取・買増請求制度の例(1,700株ご所有の場合)



2. 配当金をお受け取りになっていない株主様は、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先にご連絡ください。

コーポレートデータ

(2016年9月30日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年(大正14年)4月3日
設立	1929年(昭和4年)1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数(SMKグループ)	6,457名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号 TEL (03)3785-1111(代表) FAX (03)3785-1878

役員一覧

取締役および監査役

代表取締役社長	池田 靖光
代表取締役副社長	櫻井 慶雄
取締役常務執行役員	角 芳幸
取締役常務執行役員	若林 幹雄
取締役常務執行役員	ポール エバンス
取締役	中村 利雄
常勤監査役	中村 哲也
監査役	中島 成
監査役	清水 一朗
監査役	福井 盛一

執行役員

常務執行役員	大垣 幸平
常務執行役員	柳 茂哉
執行役員	松本 秀夫
執行役員	宮川 宏
執行役員	石橋 竹己
執行役員	関 晴孝
執行役員	池尾 政信
執行役員	後藤 光彦
執行役員	原 哲雄
執行役員	増淵 充行
執行役員	宇佐美 博

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

SMK

検索

<http://www.smk.co.jp/>

SMKはウィルチェアーラグビーの羽質理之選手を応援しています。

<https://www.facebook.com/massasmk>

※ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、SMK株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

SMK株式会社